

令和8年度スマートハウス普及促進事業実施業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和8年5月14日（木）～令和8年5月18日（月）
2	場 所	書面審査
3	出席委員	環境県民局環境政策課長 環境県民局環境県民総務課長 環境県民局循環型社会課長 土木建築局建築課長 土木建築局住宅課長
4	議 題	スマートハウス普及促進事業実施業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	環境県民局環境政策課
6	開催方法	書面審査
7	議事内容	<p>提案された企画提案書を基に書面審査を行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。</p> <p>1 審査対象者（提案書受理順、最優秀提案者：（◎）） A社 株式会社ザメディアジョン（◎）</p> <p>2 審査結果</p> <p>（1）審査対象者の評価値 別紙のとおり</p> <p>（2）提案者に対する意見 （株式会社ザメディアジョン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務全体の理解度について、過去の経験を活かし、課題を明確にし、解決策を導いている。 ・補助金情報の整理について、住宅雑誌や書籍の発刊に伴うノウハウを有しており、十分な情報整理やチラシ作成が期待できる。 ・県民向けの普及啓発について、ターゲットを明確にし、体験内容も含める等関心を高める工夫をされており、評価できる。 ・セミナー実施について、他団体とタイアップしたセミナーの実施により、効果的な集客が可能である。 ・住宅産業団体に所属するとともに、住宅雑誌等の発刊などを通じて専門家とのコネクションがあり、事業実施に十分な体制と考えられる。